2. ごみの発生を抑制し、資源を循環させてごみを減らす

今、求められていること

- ごみの削減を進めるため、ごみの発生をできる限り抑制するとともに、ごみを資源として循環させる持続可能な社会システムの構築が求められています。
- ごみの処理にあたっては、ごみの減量を図りながら、環境に配慮するとともに、効率的なごみ処理を進めることが求められています。

取り組みの方向

- 市民・事業者・行政の協働により、ごみの発生を抑制（リフューズ・リデュース）するとともに、資源の再使用・再生利用（リユース・リサイクル）を進めます。
- ごみ処理を進めるため、既存のごみ処理施設の効率的な稼動を図るとともに、将来のごみ量を見極めながら、計画的にごみ処理施設を整備します。

＜主要な取り組み＞

- スマートライフ※の普及・啓発
- プラスチック製容器包装類ごみの資源化の推進
- 粗大ごみの処理施設の整備

ペットボトル圧縮梱包物ストックヤード